

日時 令和7年5月14日（水）午後7時から午後8時30分  
場所 松平交流館 大会議室  
出席者 地域会議委員12名、事務局 3名

【内容】

1 会長あいさつ

2 協議

(1) こども・若者政策課へのヒアリング

こども・若者政策課から、「こども・若者計画（豊田にこにこわくわくプラン）」の概要説明があった。その後、質疑応答及び意見交換を行った。内容は以下のとおり。

【委員】

・計画の所管はこども・若者部だが、具体的な中身はどんな分野まで広がっているのか。

【こども・若者政策課】

・例えば、働き方改革の推進は産業部、地域におけるこどもと大人の対話では魅力創造部といったように、こども・若者部だけではなく、他の部局も巻き込んで取組を進めている。

【委員】

・地域ぐるみというと、コミュニティの活動やこども会、ジュニアクラブのイメージがあるが、そういった内容が計画の中にあまり見られなかったため、質問させていただいた。

【こども・若者政策課】

・計画の中の地域という言葉は、豊田市全体・社会全体という意味で使っている。そのため、自治区単位の取組は掲載をしていない。

【委員】

・計画の中で、どういうこどもになってほしいのかが見えてこない。豊田で暮らそう、豊田で子育てをしたいということを目指すことがいいのではないか。

【こども・若者政策課】

・この計画に関しては、こども主体で考えるということを大事にしているため、こどもが自己肯定感高めて、将来を自分で選択できるということも大切な視点として作成している。しかし、定住の視点も大切であるため、例えば、こどもの居場所プロジェクトでは、自宅や学校以外にも、地域の大人に触れ合える場所などの居場所を増やすという取組を計画している。

【委員】

・豊田市は支援等が手厚いと思う。

【こども・若者政策課】

・豊田に住んでいる時は感じなかったが、外に出て初めて、豊田市は手厚かったという意見を聞くことが多い。逆を言うと伝えられていないという課題でもある。

【委員】

・計画を見ている限りでは、大学生の学費の補助のような取組はない。そこに、豊田での居住等の条件を加えれば、定住にもつながるのではないか。

・権利プロジェクトについては、何をもちて権利なのかは難しく、そこには両親・養育者の考えはかなり出てくると思う。

【こども・若者政策課】

・いくら市がこどもに対して権利の啓発をしたとしても、家庭の考え方が大きいということは実際に感じる。地域向けの取組を試してみても、届けることが難しいという課題がなかなか消えない。

・大学の補助については、現時点でお答えできないがご意見として聞くことができ良かった。

【委員】

- ・地域として取り組みをした中で良かった事例はあるか。

【こども・若者政策課】

- ・地域の中で、危険箇所マップなどの交通の取組をするときにこどもと一緒に取り組むなど、地域会議の取組にこどもが参加するというのを聞いたことがある。

【委員】

- ・地域という言葉、松平や猿投、稲武などの地元という意味合いで捉えた取組も考えて欲しい。市全体というよりも、地元のことをよくしてほしいと願っている人は多いと思う。

【こども・若者政策課】

- ・仕組みとしては存在しても、そこに地域の手助け、その地域にいる人の手助けがないとできないような仕組みもある。
- ・計画は全市的な計画になっているため、豊田市全体・社会全体というニュアンスが色濃く出ているが、いわゆるコミュニティのような地域という概念が一切ないというわけではない。

【委員】

- ・計画のベースになってるアンケートの中で、優しい町というのがポイントになっていると思うが、この政策の中で機転を置かれたところ、優しいまちづくりの具体例や、アンケートをベースに考えられた部分があれば教えてほしい。

【こども・若者政策課】

- ・優しい町とはどんな町かというワークショップを行った際、大人も笑っていてほしい、安心して育ててほしいという意見が出た。そういった意見をふまえて、こどもも保護者も地域もみんなでそういった幸せを作っていこうと意識して計画を組み立てた。

【委員】

- ・地域の取組もそういうことをベースに考えていく必要があると感じた。こどもが何を求めているのか吸い上げきれていないと感じるため、参考になればと思い質問した。
- ・アンケートの分布というのは、均等になっているのか。都市部・山間部は関係あるのか。

【こども・若者政策課】

- ・だいたい人口比ぐらいで分けるように学校に依頼した。ワークショップは希望制のため、地域の偏りはあると思われる。

【委員】

- ・松平でこどもと地域をつなげる取組を考えようとした時にどうやってやったらいいのか、そんなアドバイスしていただけるような方がお見えになったら紹介してほしい。
- ・こどもの施策というのは、市で全体的に取り決めていく中でも、地域がある程度こどもを集めることを考えるべきだと思っているが、どう進めていけばいいのかが見えないと感じた。
- ・やはり将来、人口が少なくなり、高齢化も進んでいく状況は目に見えているので、将来のこどもたち、孫のために今大人たちが何をやったらいいのか考えないといけない。計画を全市的に進めていくにあたって、個々の地域にも目を向けて推進を図ってほしい。

【委員】

- ・自分たちの時代と今の時代では伝え方も変わってくる。夜遅くに1人で歩いているこどもがいると心配になるが、下手に声かけづらい。どのように地域で育ててあげればいいのか。

【こども・若者政策課】

- ・こどもが地域の大人と繋がる機会があるといいと思っている。こどもの居場所プロジェクトで、いろいろとやってみたいと思っている。

【委員】

- ・そういった機会をつくる取組はこども・若者部だけじゃなくても可能。推進はしないのか。

【こども・若者政策課】

- ・居場所プロジェクトを重点に置いてやろうとしている。いろんな課と協力していきたい。

## (2) 年間スケジュールについて

資料に基づいて、令和7年度地域会議のスケジュールについて協議を行った。現時点では、事務局案のとおりとなった。

## (3) 令和7年度地域課題解決事業 事業計画について

資料に基づいて、今年度の地域課題解決事業について協議した。

## 3 報告

令和7年度わくわく事業団体について

資料に基づいて、わくわく事業団体について事務局から説明があった。

## 4 連絡事項

・子育て応援講座について（6月7日（土） 午前10時～）

## 次回会議について

- ・日 時：令和7年6月11日（水） 午後7時から
- ・場 所：松平交流館 大会議室
- ・議 題：農業振興課へのヒアリング など